

広島市(広島県)の一体的実施

平成24年7月19日事業開始

市内2区の区役所内に就労支援窓口を開設し、市とハローワークが生活保護受給者等に対する一体的支援等を実施

市

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・就労支援窓口の設置・運営
- ・生活保護受給者等に対する支援

② 協定・事業計画

- ・広島市長と広島労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を、広島市と広島労働局の間で策定

* 協定の実施について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・広島市職員、広島労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置



南区、佐伯区の区役所内に就労支援窓口を設置し、住民に身近な区役所で福祉から就労までの支援を実現(平成24年7月から巡回。平成25年1月から常設。)

(1) 実施体制

市

- ・就労支援員各1名を配置
- ・その他必要に応じてケースワーカー等が同席

国

巡回

- ・就職支援ナビゲーター各2名が、携帯用端末を持参して、2区の就労支援窓口を巡回

常設

- ・就職支援ナビゲーター各2名を常設窓口に配置
- ・求人情報端末及び職業紹介端末各2台を常設窓口に設置

(2) 事業目標と取組状況

事業内容	25年度事業目標 (25年4月～26年3月)	取組状況(25年10月末時点)
就労支援窓口における生活保護受給者等の支援	◇就労支援窓口利用者数 311人	◇就労支援窓口利用者数 153人
	◇就職決定者数 139人	◇就職決定者数 97人
	<24年度事業目標> ◇就労支援窓口利用者数 152人 ◇就職決定者数 60人	<24年度事業実績> ◇就労支援窓口利用者数 174人 ◇就職決定者数 52人

一体的実施事業による就職成功例

男性：56歳 希望職種：建設作業員等
直近の状況：日雇い（建築関係）

① 抱える課題

- ・生活保護受給歴が比較的長く、受給中も週1～2日程度の就労経験しかないため、長時間就労に不安あり。
- ・希望職種が明確でない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・希望職種の明確化のため、就職支援ナビゲーターによるキャリア・コンサルティングの実施。その結果、警備員を第一希望職種として応募していくことに。
- ・採用に向けて、ナビゲーターによる具体的な履歴書や職務経歴書の作成支援、面接対策のアドバイス。

③ 結果 ※支援期間 3か月
市内の警備会社のパート社員として採用

- ・職種：駐車場管理
- ・一日8時間程度 週3～5日勤務

男性：50歳代 希望職種：営業
直近の状況：営業職30年、3年前に病気で退職

① 抱える課題

- ・営業職にこだわり、他の職種に就職しても長続きしないため、生活保護に頼っている。
- ・高血圧症で通院中。また膝も悪いため、重量物の運搬等はできない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・就職支援ナビゲーターとの相談の中で労働市場情報を提供しつつ、営業職にこだわることが就職の可能性を限定していること、他の職種に対する可能性への気づきを促進。
- ・宅建資格所持の強みを活かすことを視野に入れ、求人情報提供及び具体的な履歴書や職務経歴書の作成支援、面接対策を重点的に指導。

③ 結果 ※支援期間 1か月
市内の不動産営業職で正社員採用

- ・こだわりが緩やかになった結果、本人の希望に沿った条件での就職が実現